



Cee's Watching Gallery

街の「オモロニヤリ人」を見つけては、Ceeちゃんがこっそりスケッチ。今回は駅で見かけた人編。こんな人、イリイル!

PAPA'S STYLE.03



PaPa's style vol.3

2015.2.14発行

編集:パパスタスパパ

発行所:本の部屋

Lyrics パパスタスパパの歌詞をご紹介します

はなびら Lyric by Tatsuya Hyuga

凍えた背中 抱きしめて
あなたをそっと 包みましょう
いつもわたしの傍らで
悲しい話を 遠ざけて

あなたを遮る その陰は
花びら蒔いて 散らしましょう
赤や黄色の 春の花
いつも一緒に 摘みましょう

幼いあなたが そばに来て
歌を歌って くれました
夢で見たよな 幸せは
昨日 確かにありました

街行き人を 追いかけて
あなたを捜すの やめましょう
いつも私がいるように
灯りともして 待ちましょう

©1991年に始まった湾岸戦争の際、作った詞。戦地に赴く兵士にも、戦場と化した街に暮らす人々にも、それを伝えようとする人にも、命の光が戻るのを待つ人がいる。

Oh じいさん Lyric by Tatsuya Hyuga

Oh じいさん のんべさん トモダチ たくさん
Oh じいさん お人好し おしゃべり 大好き

白い 象に乗って
フワリ 宙にうかぶ
極楽行きの各駅停車
黄泉の国は もう見えたかい
月を横切り 桜の酒を
腰にぶら下げ ゆらり

Oh じいさん のんべさん トモダチ たくさん

白い 象に乗って
フワリ 宙にうかぶ
極楽行きの各駅停車
黄泉の国まで あと少し
星を 肴に 桜の酒を
迎い笑顔で ちびり

©2009年3月。父が亡くなる3日前のこと。ホスピスの部屋で、Ceeちゃんが見舞いにくれた「片野桜」という酒を開けた。「お前と飲む酒が一番旨い」と、本当に旨そうに呑んだ父。その年の桜には間に合わなかったが、楽しい花見酒だった。僕は笑う事、話す事、歌う事が好きな父の息子だなあと思う。

パパスタスパパって?

我がバンド名『パパスタスパパ』は、覚えにくいと不評である。「なんでパパスタスパパにしたのか?」と尋ねる人が、その名前を言うたびに何度も囁むのを聞きながら、「えへっ」とほくそ笑んでいる。

パパというには随分な年ではあるけれど、パパスタスパパにはパパが二人いる。そんな父ちゃんが、様々な小皿料理(タパス)を作って、メンバーがお客様に振る舞うっていうのが、このバンドのコンセプトであり、名前の由来。

「パパス・タパスって、どうかな?」という私の提案を、山崎君が見事にアレンジしてくれたのがこの名前。

いわゆる回文。つまり、上から読んでも下から読んでもってヤツ。この言いにくいバンド名をいつでも言えるようになったら、あなたもパパスタ通! 私は今でもライブ中に囁んでますけど。(達)

Photo ついにPAが壊れた

とうとう音が出なくなった中国製パワードミキサー。思えばかれこれ10年、よく働いてくれたものだ。たった3万円でPAフルセットが揃うのだから、中国4千年の奥深さは計り知れない……が、それなりの音であったことは間違いない。

ココは今年度死ぬほど働く覚悟で新調しました。パワードミキサーはヤマハ(もちろん日本製)、スピーカーはEV(米国製)。良い音でなければなりません。



ドラム鶴ちゃんの
美味しい実家です!
「あー、また食べたい。」
が、メンバーの口癖。
餃子、オススメ!

PR

中華料理『広東』

電話:0774-43-4520

住所:京都府宇治市大久保町北ノ山101-5

※大久保(京都府)駅出口から徒歩約2分